

# 産業実態に関するアンケート

調査企画・実施機関 三重県 雇用経済部 雇用経済総務課 企画調整班  
 〒514-8570 三重県津市広明町 13  
 (お問い合わせ)担当者：橋本、柴原 電話：059-224-2355 F A X：059-224-3024

i) 最初にご回答者のご連絡先についてご記入下さい。

(1)会社名・事業所名			
(2)部署・役職		(3)氏名	
(4)所在地	(〒 - - )		
(5)電話番号・FAX	電話	- -	FAX
(6)メールアドレス			

ii) 貴社全体の概要についてご記入下さい。

(1)本社所在地	(〒 - - )		
	※本社所在地が i)(4)所在地と同じ場合は記入不要です。		
(2)設立年月	年	月	(3)資本金
			円
(4)代表者氏名・年齢	(氏名)	(年齢)	
(5)従業員数(2020年度末)	名		

**※以下の設問は貴社全体ではなく、貴事業所についてお答えください。**

**問1 貴事業所の製品・サービス、コロナ禍における経営状況等についてお聞きします。**

**問1-1 貴事業所の「産業分類」を、下記の選択肢リストから選んで番号をご記入ください。**

**また、現在の主力製品・サービス（売上高または生産高が最も多いもの）を1つご記入下さい。**

産業分類		主力製品・サービス
------	--	-----------

**【選択肢リスト：産業分類】**

<b>製造業</b>	1.食料品製造業	<b>製造業</b>	13.窯業・土石製品製造業	<b>サービス業</b>	25.農業、林業、漁業
	2.飲料・たばこ・飼料製造業		14.鉄鋼業		26.鉱業、採石業、砂利採取業
	3.繊維工業		15.非鉄金属製造業		27.建設業
	4.木材・木製品製造業(家具を除く)		16.金属製品製造業		28.電気・ガス・熱供給・水道業
	5.家具・装備品製造業		17.はん用機械器具製造業		29.情報通信業
	6.パルプ・紙・紙加工品製造業		18.生産用機械器具製造業		30.運輸業、郵便業
	7.印刷・同関連業		19.業務用機械器具製造業		31.卸売業、小売業
	8.化学工業		20.電子部品・デバイス・電子回路製造業		32.金融業、保険業
	9.石油製品・石炭製品製造業		21.電気機械器具製造業		33.不動産業、物品賃貸業
	10.プラスチック製品製造業		22.情報通信機械器具製造業		34.教育、学習支援業
	11.ゴム製品製造業		23.輸送用機械器具製造業		35.医療、福祉
	12.なめし革・同製品・毛皮製造業		24.その他の製造業		36.宿泊業、飲食サービス業
		37.生活関連サービス業、娯楽業			
		38.その他サービス業			

**問 1-2** 貴事業所の売上高または生産高、営業利益、売上高営業利益率、設備投資、研究開発費、従業員数について、「2020 年度実績 (2019 年度対比)」、および「今後 3 年間程度の見通し」に該当する番号①～⑤をご記入下さい。

**【選択肢】** ①大幅な増加傾向 ②やや増加傾向 ③横ばい ④やや減少傾向 ⑤大幅な減少傾向

	記載例	売上高 または生産高	営業利益	売上高 営業利益率	設備投資	研究開発費	従業員数
2020 (R2) 年度実績	①						
今後 3 年間程度の見通し	③						

※「大幅な」は年率換算で 10%以上の増減率、「やや」は同 1 桁台%の増減率を目安として下さい。

**問 1-3** 問 1-2 で 2020 (R2) 年度実績の「売上高または生産高」にて「④やや減少傾向」、「⑤大幅な減少傾向」とお答えいただいた方にお聞きます。コロナ禍により貴事業所の売上減少に影響が出た事由について、該当するものをすべてに○をつけて下さい。

なお、コロナ以外の理由で売上が減少した場合は、回答せずに設問をとばしてください。

1. 取引先企業からの受注減により、生産・販売が減少
2. 原材料、部品、商品等の調達難、コスト増により、生産販売が減少
3. 出張の自粛・制限、展示会等の延期・中止等による対面での営業活動の制限・縮小
4. 営業時間短縮や生産調整 5. その他 ( )

**問 1-4** 貴事業所が活用した国・県・市町のコロナ対策の関連施策があれば、該当するものすべてに○をつけて下さい。

1. 低利・無利子の運転資金の融資
2. 売上高減少に伴う給付金
3. 雇用維持のための助成金
4. 家賃などの負担軽減のための給付金
5. テレワーク導入に伴う給付金・支援金
6. 業務効率化、生産性向上のための補助金
7. 販路開拓のための補助金・支援金
8. 新商品開発等の新事業実施のための補助金
9. 支援策を活用しなかった
10. その他 ( )

**問 1-5** 問 1-4 で「9. 支援策を活用しなかった」とお答えいただいた方にお聞きます。

国・県・市町の支援策を活用しなかった理由について、該当するものすべてに○をつけて下さい。

1. 支援の必要がなかった
2. 申請要領の内容が複雑だった
3. 申請書類を入手することが困難だった
4. 申請から入金まで時間がかかると思った
5. 金額が少なかった
6. 申請対象外であった
7. 活用できる支援策がわからなかった
8. その他 ( )

**問 2 貴事業所の経営戦略等についてお聞きます。**

**問 2-1** 貴事業所が直面している経営上の課題は何ですか。該当するもの 3 つ以内に○をつけて下さい。

1. 大企業の進出による競争環境の変化
2. 同業者との競争激化
3. 協力企業(外注先等)の倒産・廃業
4. 需要の低迷
5. ニーズ変化への対応難
6. 設備の老朽・不足
7. 過剰設備
8. 人件費の増加
9. 原材料の不足・価格の上昇
10. 販売価格の低下・上昇困難
11. 事業資金の借入難
12. 債務の過剰・金利負担の増加
13. 債権等の回収の悪化
14. 従業員の確保難
15. 従業員の過剰・削減難
16. 後継者不足 (事業承継難)
17. 技能・知識の承継難
18. 災害への対応
19. ICT・IoT<sup>(※1)</sup>・AIの導入・利活用
20. DX<sup>(※2)</sup>の推進
21. その他 ( )

<用語解説>

(※1) Internet of Things (インターネット・オブ・シングズ) の略で、「モノのインターネット」と呼ばれます。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すことを言います。

(※2) デジタルトランスフォーメーション (DX) : ICT (情報通信技術) の浸透が人々のあらゆる面でよい方向に変化させることです。従来の情報化/ICT利活用では、既に確立された産業を前提に、その産業の効率化や価値の向上を実現するものであったのに対し、デジタルトランスフォーメーションでは、その産業のビジネスモデル自体を変革していくことを言います。具体例として、ものづくり製造業では、スマートファクトリーを目指して、デジタル化による経営や生産状況のデータ管理と全社的な共有を行い、生産状況を見える化することや、技術者の持つノウハウをデータ化することで、品質向上・生産性向上につなげることがあげられます。

**問 2-2** 今後重点的に取り組みたい経営戦略は何ですか。該当するもの3つ以内に○をつけて下さい。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 新規顧客・連携先の開拓       | 2. コア技術・スキルの更なる活用    |
| 3. 新規技術の導入・開発        | 4. 国内の既存市場での競争力確保    |
| 5. 海外の既存市場での競争力確保    | 6. 国内での新商品・サービスの展開   |
| 7. 海外での新商品・サービスの展開   | 8. 製品、サービス等のブランド力の強化 |
| 9. ICT・IoT・AIの導入・利活用 | 10. DXの推進            |
| 11. 知的財産戦略の構築        | 12. 大学・研究機関との連携      |
| 13. 人材の育成            | 14. 働き方改革            |
| 15. 特に必要ない           | 16. わからない            |
| 17. その他 ( )          |                      |

**問 2-3** 問 2-1 および問 2-2 の「経営上の課題」「経営戦略」に取り組む上で、不足している、あるいは補完すべき経営資源は何ですか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |          |             |            |           |         |
|----------|-------------|------------|-----------|---------|
| 1. 人材    | 2. 設備       | 3. 資金      | 4. 情報     | 5. 技術   |
| 6. 販路開拓  | 7. 企画       | 8. マーケティング | 9. マネジメント | 10. 信用力 |
| 11. デザイン | 12. その他 ( ) |            |           |         |

**問 2-4** 今後、貴事業所が発展していくうえで成長を期待している産業・技術分野について、最も期待している分野 (一つ)、次いで期待している分野 (二つ以内) を選択肢からご記入下さい。また、今後成長を最も期待している国について、国名をご記入下さい。

最も期待している分野 (一つ)	期待している分野 (二つ以内)	今後成長を最も期待している国
	① ②	

- |   |                  |            |              |
|---|------------------|------------|--------------|
| 1. クリーンエネルギー (省エネ・新エネルギー・再生可能エネルギー・CO <sub>2</sub> 削減等) | 2. 情報通信・情報サービス   | 3. 医療・介護   | 4. バイオテクノロジー |
| 5. ナノテクノロジー・新素材   | 6. ICT・IoT・AI・DX |            |              |
| 7. 次世代自動車 (自動走行車、電気自動車、燃料電池自動車等)                        |                  |            |              |
| 8. ロボット   | 9. 航空・宇宙         | 10. 交通システム |              |
| 11. 水ビジネス   | 12. 観光           | 13. 食品・農業  |              |
| 14. 水産・海洋関連   | 15. 対事業所サービス     | 16. 流通・物流  |              |
| 17. 生活支援サービス  | 18. 人材サービス       | 19. 住宅関連   |              |
| 20. 特にない  | 21. その他 ( )      |            |              |

**問 2-5** 貴事業所における DX の取組状況について、該当するもの1つに○をつけて下さい。

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. DX に関する取組を行っている | 2. DX に関する取組を行っていない |
| 3. DX の概念を聞いたことがない |                     |

**問 2-6** 貴事業所において DX の取組を推進する上で、国・県・市町に最も期待するもの 1 つに○をつけて下さい。

- |                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. DX 導入推進セミナー                 | 2. DX 導入に関するコンサルティング |
| 3. DX 人材育成セミナー                 | 4. DX 導入や試作等に係る費用の補助 |
| 5. 専門家の現地派遣等による個別支援            | 6. IT ベンダーとのマッチング機会  |
| 7. DX 導入を考えている同業種関連企業とのマッチング機会 |                      |
| 8. その他 ( )                     |                      |

**問 2-7** 貴事業所において DX に取り組む際の課題として該当するものを最大 3 つまで○をつけて下さい。

1. DX の前提となる将来への危機感が、企業全体になかなか浸透しない	
2. ビジネスや組織の変革に対する社内の抵抗感が強い	
3. 他社や研究機関と連携を実現したいが、適切な連携先が見つからない	
4. 連携先との間で Win-Win の関係を維持することが難しい	
5. DX の推進に向けて様々な取組を行っているものの、なかなか成果・収益が上がらない	
6. プロジェクト開始時のリスクテイクの判断が難しい	
7. 成果が上がらないプロジェクトの中止・撤退の判断が難しい	
8. DX を担う能力のある人材が、社内で育成できない	
9. DX を担う能力のある人材が、社外から獲得できない	
10. DX を担う人材のための新たな人事評価制度や給与体系などの整備が不十分である	
11. DX を実現するうえで、社員全体の IT リテラシーが不十分である	
12. DX を推進するための既存の情報システムの改修の負担が大きい	
13. 特に課題はない	
14. その他 ( )	

**問 2-8** 事業継続計画（BCP）（※事業継続力強化計画を含む）の策定状況について、該当するもの 1 つに○をつけて下さい。

- |  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 策定しており、計画に基づく取組や訓練を行っている                        |                         |
| 2. 策定したが、書類の整備にとどまり、計画に基づく取組や訓練は行っていない             |                         |
| 3. 策定中   | 4. 策定するつもりはあるが、まだできていない |
| 5. 事業継続計画（BCP）あるいは事業継続力強化計画という名称は知っているが、策定するつもりはない |                         |
| 6. 事業継続計画（BCP）も事業継続力強化計画もどちらも名称を知らない               |                         |

**問 2-9** 事業承継の予定について、該当するもの 1 つに○をつけて下さい。

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 後継者が決まっております、その後継者に事業を承継する    |
| 2. 後継者は決まっていますが、後継者候補はいる         |
| 3. 後継者は決まっておらず候補もいないが、事業を継続したい   |
| 4. 後継者がいないため、M&A（※3）等による売却を考えている |
| 5. 現在の事業を継続するつもりはない              |
| 6. 自分がまだ若いので、後継者を決める必要がない        |
| 7. その他 ( )                       |

<用語解説>（※3）M&A とは企業の合併と買収の略称。以前は大企業による合併・買収が中心であったが、近年では後継者が不在の中小企業の事業承継手段の選択肢のひとつとして、成約件数が増加しています。

**問 2-10** 事業承継の手段としての M&A に関して該当するものすべてに○をつけて下さい。

1. 利用している・利用を検討している
2. 検討したことがあるが、事業譲渡後の自社の社員の不安があり、断念した
3. 検討したことがあるが、自社の体制や財務内容に不安があり、断念した
4. 検討したことがあるが、仲介手数料等に不安があり、断念した
5. 親族や社員以外の他人へ事業を譲渡することに不安があるため、検討したことがない
6. 後継者が決まっているため、検討したことがない
7. 事業承継の予定がないため、検討したことがない
8. 事業承継手段の選択肢として、活用できることを知らなかった

**問 2-11** 三重県内の事業所の方にお聞きします。首都圏への販路拡大にあたり三重県に期待することは何ですか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

1. 首都圏バイヤーとの商談会の場の提供
2. アンテナショップなど商品販売の場の提供
3. 首都圏のトレンド等の情報提供
4. 首都圏への販路拡大は（今のところ）考えていない
5. 行政に期待することはない
6. 首都圏への販路開拓を必要とする業種ではない
7. その他（ ）

**問 3 貴事業所の脱炭素の取組状況等についてお聞きします。**

2021年4月、菅総理大臣は2030年に向けた温室効果ガスの削減目標について、政府の地球温暖化対策推進本部の会合で2013年度比で46%削減することを目指すことを表明しました。

また、県としても、2019年12月、脱炭素社会の実現に向けて取り組むことを決意し、「ミッションゼロ2050みえ～脱炭素社会の実現を目指して～」を宣言するとともに、この宣言をふまえ、2021年3月に「三重県地球温暖化対策総合計画」を策定しています。

今後、2050年にカーボンニュートラル（温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする）の実現に向けて様々な対策が必要となります。

**問 3-1** 貴事業所において、これまで実施した（または計画中の）省電力・脱炭素に関する取組について、該当するものすべてに○をつけて下さい。

1. ICT等を活用した柔軟な働き方の普及
2. 省エネに関する人材育成
3. 効率的な設備への更新
4. 再生可能エネルギー設備の導入
5. RE100/RE Action<sup>(※4)</sup>への加入
6. グリーン電力<sup>(※5)</sup>の購入
7. その他（ ）
8. 何も取り組んでいない

<用語解説> (※4) RE100/RE Actionは使用する電力の100%を再生可能エネルギーで賄うことを目標とした取組を行うイニシアティブのこと。

(※5) 太陽光・風力・バイオマス・水力・地熱など、再生可能エネルギーを活用して作られた電気。

**問 3-2** 貴事業所において、今後実施（または継続）したいと考える省電力・脱炭素に関する取組について、該当するものすべてに○をつけて下さい。

1. ICT等を活用した柔軟な働き方の普及
2. 省エネに関する人材育成
3. 効率的な設備への更新
4. 再生可能エネルギー設備の導入
5. RE100/RE Actionへの加入
6. グリーン電力の購入
7. その他（ ）
8. 特にない

**問 3-3** 貴事業所において、省電力・脱炭素に関する取組で課題となっていることについて、該当するものすべてに○をつけて下さい。

1. 省電力・脱炭素に関する取組の必要性への理解不足
2. ICT等を活用した柔軟な働き方への理解不足
3. 省エネに関する人材育成
4. 設備更新にかかるコスト
5. 再生可能エネルギー設備導入コスト
6. RE100/RE Actionに対する理解不足
7. グリーン電力購入コスト
8. その他（ ）
9. 特にない

**問4 貴事業所の海外展開の取組についてお聞きします。**

**問4-1** 海外展開として現在どのような取組を行っていますか。貴事業所の主力製品・サービスに関して該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |                                  |       |                   |              |
|----------------------------------|-------|-------------------|--------------|
| 1. 輸出                            | 2. 輸入 | 3. 海外拠点の設立 (海外進出) | 4. 外国人観光客の受入 |
| 5. 現在取組を行っていないが、以前に輸出または輸入から撤退した |       |                   |              |
| 6. 現在取組を行っていないが、以前に海外進出から撤退した    |       |                   |              |
| 7. これまで取組を行ったことがない               |       |                   |              |
| 8. その他 ( )                       |       |                   |              |

**問4-2** 問4-1で、「3. 海外拠点の設立 (海外進出)」とお答えいただいた方にお聞きします。

(1) 貴事業所の海外進出先はどこですか。具体的に国名を3つ以内でご記入下さい。

国名	①	②	③
----	---	---	---

(2) 海外進出の際に障壁となったことは何ですか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |   |                            |
|---|----------------------------|
| 1. 本社に現地拠点を管理・経営する知識・ノウハウが不足            |                            |
| 2. 本社スタッフに海外とのコミュニケーション能力 (語学力等) が不足    |                            |
| 3. 現地拠点に派遣する日本人スタッフが不足                  |                            |
| 4. 現地の法制・規制 (法律・税制・投資許認可・貿易等) に関する情報が不足 |                            |
| 5. 海外投資資金の確保が困難                         | 6. 現地スタッフの採用に関する情報・ノウハウが不足 |
| 7. 特になし                                 |                            |
| 8. その他 ( )                              |                            |

**問4-3** 海外展開全般に関する中期的な (今後3年程度) 展開方針について、該当するもの1つに○をつけて下さい。

- |            |              |         |
|------------|--------------|---------|
| 1. 強化・拡大する | 2. 現状程度を維持する | 3. 縮小する |
| 4. 撤退する    | 5. わからない     |         |

**問4-4** 今後の海外展開 (輸出、輸入、海外拠点の設立、外国人観光客の受入) 先として、興味のある国・地域はどこですか。具体的に国名を3つ以内でご記入下さい。

国名	①	②	③
----	---	---	---

**問5 人材の確保についてお聞きします。**

**問5-1** 採用状況 (令和2年度内の中途採用、令和3年4月1日採用) について、想定 (計画) どおりに採用できましたか。該当するものに○をつけて下さい。

また、人員の過不足状況についても該当するものに○をつけて下さい。

(想定どおりに採用できたか)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. できている | 2. できていない |
|----------|-----------|

(人員の過不足状況)

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 不足している | 2. 過不足はない | 3. 過剰である |
|-----------|-----------|----------|

**問5-2** 採用の対象者をどのように想定していますか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |                                  |             |                |            |                  |
|----------------------------------|-------------|----------------|------------|------------------|
| 1. 新規大学卒業者                       | 2. 新規大学院卒業者 | 3. 新規高等専門学校卒業者 | 4. 新規高校卒業者 |                  |
| 5. 第二新卒者 (大学等を卒業後3年以内で社会人経験のある者) |             |                |            |                  |
| 6. 社会人経験者 (5. 第二新卒者を除く)          |             |                |            | 7. 既卒者 (社会人経験なし) |
| 8. 特に年齢・学歴・経歴は問わない。              |             |                |            |                  |

**問5-3** どのような専門分野を学んだ人材を確保したいと考えていますか。

該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |                 |         |                 |                |                  |              |
|-----------------|---------|-----------------|----------------|------------------|--------------|
| 1. 文学・史学・哲学     | 2. 外国語学 | 3. 法学・政治学       | 4. 商学・経済学・経営学  | 5. 社会学           |              |
| 6. 福祉学          | 7. 理学   | 8. 工学           | 9. 情報学         | 10. 農学・獣医畜産学・水産学 | 11. 医学・歯学・薬学 |
| 12. 看護学・保健学     | 13. 栄養学 | 14. 家政学・被服学・住居学 | 15. 教育学 (16除く) | 16. 幼児教育学・保育学    | 17. 心理学      |
| 18. 美術・芸術・デザイン学 | 19. 体育学 | 20. その他 ( )     |                |                  |              |

**問 5-4** 採用の際、課題となっていることは何ですか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 応募する人の数が少ない       | 2. 求める資格を持った人が少ない  |
| 3. 求める技術や知識を持った人が少ない | 4. 採用後の職場定着率が低い    |
| 5. 応募者に内定を出したが辞退された  | 6. 募集のためのノウハウ・人材不足 |
| 7. 募集のための資金不足        | 8. その他( )          |

**問 5-5** 問 5-2 で 6, 7, 8 のいずれかを選択された場合、就職氷河期世代<sup>(※6)</sup>の非正規雇用者や無業者の採用を想定していますか。該当するものに○をつけ、その理由をご記入下さい。

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 積極的に採用したい | 2. 採用したい   |
| 3. 採用は考えていない | 4. その他 ( ) |
| 理由： [ ]      |            |

<用語解説> (※6) 概ね 1993 (平成 5) 年～2004 (平成 16) 年に学校卒業期を迎えた世代。

**問 5-6** 問 5-5 で 1, 2 のいずれかを選択された場合、就いていただく具体的な職種は何ですか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 事務職         | 2. 営業・販売職         |
| 3. 製造・生産工程職    | 4. ICT等の専門的・技術的職業 |
| 5. サービス職       | 6. 保安職            |
| 7. 建設・採掘職      | 8. 輸送・機械運転職       |
| 9. 運搬・清掃・包装等の職 | 10. その他 ( )       |

**問 5-7** 問 5-1 の「人員の過不足状況」で、1, 3 のいずれかを選択された場合、その過不足を解消するためどのような取組を行っていますか。該当するもの1つに○をつけて下さい。

- |               |                |                   |
|---------------|----------------|-------------------|
| 1. 雇用調整助成金の活用 | 2. 在籍型出向制度の活用  | 3. 移籍による出向(転籍)の活用 |
| 4. 従業員の兼業・副業  | 5. 解消の仕方がわからない | 6. その他 ( )        |

**問 5-8** 県では雇用維持・確保のために在籍型出向制度を中心とした「みえ労働力シェアリング支援事業<sup>(※7)</sup>」を実施しています。当事業について、活用の有無、または、今後の活用希望の有無がありますか。該当するもの1つに○をつけて下さい。

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 活用している              | 2. 活用していないが、今後活用を希望する |
| 3. 活用しておらず、今後の活用も希望しない | 4. 事業を知らなかった          |
| 5. その他 ( )             |                       |

<用語解説> (※7) みえ労働力シェアリング支援事業とは、三重県が 2020 年度から開始した支援制度で、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、雇用維持に苦慮する事業者と労働力不足となっている事業者との間で、在籍出向や兼業・副業等の方法による一時的な労働力のシェアで雇用の維持・確保が図られるよう、マッチング支援等を行うものです。

なお、支援事業を希望される場合は、「みえ労働力シェアリング支援拠点」から 1 ページに記載いただいた回答者様の連絡先にご連絡させていただきますので、差し支えなければ下記に☑を入れて下さい。

三重県からの案内を希望します。

6 人材の育成についてお聞きします。

問 6-1 人材の育成のために貴事業所ではどのような取組を行っていますか。

該当するものすべてに○をつけて下さい。

1. 計画的・系統的な OJT	2. 目標管理制度による動機づけ
3. 社内資格・技能評価制度等による動機づけ	4. 同じ職種での人事異動
5. 異なる職種への配置転換	6. 他企業との人材交流
7. 企業内で行う Off-JT	8. 企業が費用を負担する社外教育
9. 本人負担の社外教育に対する支援	10. その他 ( )

問 6-2 貴事業所で今後強化していく必要があると考える人材はどのような人材ですか。

該当するものすべてに○をつけて下さい。また、具体的な資格・能力等がありましたらご記入下さい。

1. 経営層	2. 中間管理層	3. 専門人材
4. 現場人材	5. グローバル化対応人材	6. データサイエンティスト (※8)
7. その他 ( )		
具体的な資格・能力等 ( )		

<用語解説> (※8) I o T、ビッグデータ、A I 等の技術革新による第 4 次産業革命において、重要な役割を担うと考えられている専門人材。具体的には、プログラミングやデータ分析など I T 分野の高度な技術・専門性を備えており、それらを活用して新たなビジネスやサービスを生み出すことで、企業の競争力強化に貢献できる専門人材。

問 7 貴事業所の産学官連携等、外部連携の取組についてお聞きします。

これまで大学・研究機関や他企業等と組織的に外部連携をされたことはありますか。

これまでに実施された外部連携の連携先について、該当する「連携先」欄に○を、「主たる連携先」の所在地について、該当する番号を記入して下さい。

	大学	国 研究機関	公設試験 研究機関	技術移転 機関	インキュ ベータ	産業支援 機関	大企業	中小・ベンチ ャー企業	その他	連携 なし
連携先										
主たる連携先										

【選択肢】 ①三重県内 ②三重県外 ③海外

問 8 行政に対する意見や要望等がございましたら、ご記入下さい。

質問は以上です。ありがとうございました。

※ご記入いただいた内容につきましては、個々の内容を実名とともに公表することはありません。また、本調査の目的外での使用は一切いたしません。